

# 令和5年度 学校教育自己診断の結果と分析

泉尾工業高等学校

## 生徒

### 「1 学校へ行くのが楽しい」(肯定率 77.1%)

昨年度より肯定率が4.5%減少した。学校生活への満足度を表す総括的な指標であり、肯定率が高まるような教育活動を行っていききたい。

### 「2 学校のルールを守って学校生活を送っている」(肯定率 95.3%)

卒業後に就職を希望する生徒が多い本校において、規範意識の醸成は大きな目標の一つである。肯定率が高い水準で維持できるよう引き続き生徒指導に取り組む。

### 「9 工業に関する知識や技術が身についたと感じている」(肯定率 91.3%)

昨年度から肯定率に変化はない。(R4:91.2%)

各工業科の実習、座学において、授業で学ぶ知識や技術が生活や産業にとって必要なものであることを理解させながら、生徒一人一人の実情にあったきめ細かな指導を行うことができた。

### 「10 授業でわからないことについて、先生に質問しやすい」(肯定率 91.6%)

生徒が質問しやすい授業環境を整えることができた。また、日頃の生徒と教員の望ましい人間関係が構築できている。

### 「11 教室や実習室など校内美化が行き届いていて、学習しやすい環境にある」

(肯定率 75.7%)

清掃活動の充実、教室内の整理整頓の徹底など、校内美化に対する意識向上を図る必要がある。

### 「12 学校は1人1台端末を効果的に活用している」(肯定率 81.7%)

各種アンケートでの活用、授業などの学習活動における使用頻度は徐々に高まっているが、より効果的な活用方法について研究を進めていくことが必要である。

### 「13 将来の進路や生き方について考える機会がある」(肯定率 89.4%)

進路指導、生徒指導の場面をはじめ、生徒とのあらゆる関わりのなかで、将来の進路や生き方についての話題に触れることで、生徒の進路に対する意識を高めることができた。

「17 部活動に積極的に取り組んでいる」(肯定率 54.8%)

高校生活のさらなる充実や学校の活性化をめざし、部活動加入率を高めたい。

「20 泉尾工業に入学してよかった」(肯定率 85.8%)

昨年度より肯定率が0.8 ㊦ 減少した。生徒の学校生活への満足度を表す総括的な指標であり、高い満足度を維持し、中学校、中学生やその保護者に発信していくことで、今後の志願者確保につなげていく。

### 教職員

「1 学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている」(肯定率 95.3%)

教員間のコミュニケーションを活発に行い、学校をさらに良くしたいという思いを共有し、教職員一丸となって教育活動を進めていく。

「11 生徒指導において、家庭との連携ができています」(肯定率 95.1%)

昨年度より肯定率が1.0 ㊦ 減少した。学校教育活動を進めていくうえで、家庭との連携、協力は不可欠である。引き続き家庭と密に連携を取りながら教育活動を進めていく。

「17 各分掌や工業各科、教科の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。」

(肯定率 78.6%)

各分掌や工業各科、教科の課題を学校全体の課題と捉え、横断的な連携を取ることで課題解決に向かうことが望まれる。教職員全体がチームとしての機能し、より円滑に教育活動が行える学校運営に努める。

### 保護者

「1 子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている」(肯定率 85.3%)

昨年度より肯定率が大きく上昇した。(R4:68.0%)

保護者の学校への信頼感、安心感につながる指標であることから、高い水準で肯定率を維持できるよう、生徒、保護者にとって魅力ある学校づくりに努める。

「4 学校生活についての先生の指導は納得できる」(肯定率 85.3%)

昨年度より肯定率が9.1 ㊦ 増加した。あらゆる教育活動の場面で丁寧な指導を行い、本校の指導方針についてより理解が深まるよう、学校と家庭とがしっかりと連携を取りながら教育

活動を進めていく。

「10 学校は、将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている」(肯定率 91.2%)

多くの保護者が子どもの卒業後の進路は就職を意識し入学させており、就職希望者の学校紹介による就職率 100%を維持していることが評価されている。

「12 学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている」(肯定率 64.7%)

昨年度より肯定率が 3.3 割 減少した。学校教育活動を進めていくうえで、家庭との連携、協力は不可欠である。引き続き家庭と密に連携を取りながら教育活動を進めていく。

「18 泉尾工業高校に入学させてよかった」(肯定率 97.0%)

昨年度より肯定率が 5.0 割 増加した。保護者と連携し、教育活動への理解、協力を求めながら、学校経営を進める中で、高い評価をいただけたことは喜ばしいことである。肯定率が高い水準で維持できるよう引き続き魅力ある学校づくりに努める。